



管内から見える剣岳の東面

【富山森林管理署 立山森林事務所】
立山森林事務所は、富山県
中新川郡立山町に位置し、立山
町と富山市の旧大山町に所在する
国有林を管理しています。



国有林と言えば現場、現場と言えば
森林官！しかし、一般の方には余り馴
染みがないと思います。
そこで各地にある森林事務所や地域
の特色、森林官の仕事などを紹介して
いきます。

特に、富山県側の立山町と
長野県側の大町市を結ぶ総延長
三七・二キロメートルの「立山黒部アルペ



一面に咲くチングルマ

管轄する国有林は、約三五、
二〇〇ヘクタールで、人工林が約一〇〇ヘクタール
（〇・二％）となっており、天然林
と高山帯が大半を占めています。
管内には日本百名山のうち、
立山、剣岳、薬師岳、黒部五郎
岳、水晶岳（黒岳）、鷲羽岳の六
座を有しており、国有林の約
九五％が中部山岳国立自然公園も
しくは有峰県立自然公園に指定さ
れ、優れた自然景観の多い国有林
となっています。



ライチョウの親子

「ルート」は、世界有数の山岳観
光ルートとして多くの登山者や観
光客が訪れています。
当所の業務は、造林事業や生産
事業といった森林整備事業はほと
んどなく、山小屋や地元自治体、
電力会社等への貸付関係業務が主
となっています。
また、当署では山小屋経営者や
地元自治体等と国有林野保護管理
協議会を設立しており、七月中旬
から八月中旬までの約一ヶ月の
間、山岳地帯の希少な動植物保護
を目的とした高山植物等保護パト
ロールを実施しています。当所管
内の多くがパトロール区域となる
ため、期間中はパトロール員と共



管内パトロール中の筆者

に登山者への高山植物やライチョ
ウ等の希少な野生生物の保護活動
を実施しています。
■未来の担い手へのメッセージ
林野庁では標高の低い造林地か
ら三、〇〇〇メートル級の高山帯まで幅
広いフィールドを管理し、森林整
備や保全等の業務を行っていま
す。人事異動によってはその時々
で担当する業務や勤務地が変わる
こともありますが、その土地なら
ではの貴重な経験ができる職場で
す。興味のある方は国有林に就職
してみたいかがでしょうか。

受注して下さる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ

「林業土木業界からの便り」

きのしたけんこう
木下建工株式会社

こはやし
小林 拓実

(二〇一九年入社)



筆者

■事業の概要

請負事業…内山林業専用道新設

ほか工事

発注者…東信森林管理署

この工事は、佐久市内山の荒船山国有林内に幅三・六メートルの林道を二二〇メートル新設し、現道一七メートルを改良する工事です。主な工種として切土・盛土・コンクリートブ

ロック擁壁・コンクリート路面工などであり、当社では、元請業者として直営の作業部隊により工事を行っています。



のり面掘削の様子

■現場での役割、魅力

私の役割は、現場代理人の補助技術者として、測量補助や危険予知活動記録の記入などを主に行っており、現場の流れを覚えるため、最近では安全点検簿の記入などの手伝いなども行っています。

現場の魅力は、重機によって掘削された山の斜面が、道の形に変わっていくところです。

毎日少しずつ進んでいく「道」を見てみると、自分も様々な面で少しずつ前進していこうという気持ちになつていきます。まだ経験したことは無いのですが、完成した際には知人や友人に対してこの

道を作るのに自分が携わっていたと、自慢ができるというのが一番の魅力ではないかと思えます。



掘削した土砂を運ぶ様子

■林業土木の世界に

入ったきっかけ

私がこの世界に入った一番の理由は、就職活動を行っている時に地元の佐久市臼田を經由する高速道路の無料区間が開通したことです。はじめは臼田に高速道路が繋がったところで利用者は少ないと思っていました。実際には利用者も多く、凄いと感じ、そして自分もやりたいと思いました。

学生時代は、機械工学を専攻し、土木や建築の分野は全く分かりませんが、私は男三人兄弟の三男で兄二人とは違う分野の仕事をしたいと思っていました。なぜなら、兄弟皆違う分野に就くことで

将来的に協力し合える兄弟になれると思つたからです。

■未来の担い手へのメッセージ

私が思うこの業界でまず必要なことは、何を言われても折れない精神力ではないかと思えます。最初の内は怒られて当然で、逆に「コノヤロー」って思うくらいが丁度いいと思います。あとはその現場において何か楽しいことを見つけていることが大切だと思います。山が道が変わっていくことと、一番の楽しみは、昼休みの時間にご飯を食べてからの少しの昼寝は、かなり癖になります。

大変な仕事ではありますが一日の仕事が終わった瞬間の充実感と開放感最高なので是非一緒に頑張つて盛り上げていきましょう。



測量を行う筆者